

特集 わたしたちの地域の自慢
いろいろわかる
万田貝塚

昔の人の暮らしを調査



豆記者

鍵川 晴南

関口 刃

金目川と高麗山に沿って町が広がる旭地区。そこには昔、万田貝塚がありました。わたしたちは、貝塚と縄文時代のことを知りたくて、万田貝塚公園に行ってきました。

普段何気なく見ているごみ捨て場でも、実はそこからいろいろなお話がわかります。
貝塚を知っていますか？ 貝塚とは昔の人が貝がらなどを捨てたごみ捨て場のことです。万田にある貝塚は、およそ二千年から七千年前の人のごみ捨て場だったそうです。
みなさんはごみ捨て場っていつかきたないイメージを持つかもしれませんね。でも、貝塚はとても貴重な場所なんです。貝塚から見つかったものを見れば、昔の人がどんな生活をしていたのかがわかります。



いろんなものが見つかったんですね

万田貝塚からまず見つかったのは、ハマグリの殻やシジミなどの貝がら、そしてサメやタイなどの魚の骨です。これは全部海に住んでいる生き物。ということ、昔の万田の人は漁に出ていたんです。今は海までけっこう距離

貝塚からは、人の骨も見つかりました。昔の人は強い物を使っていた。昔の平均寿命は意外と短くて三十歳くらい。寿命が短かった分、きっとわたしたち以上に一生懸命生きていたんでしょうね。



ウォー、狩りに行くぞー

離がありますが、昔の平塚の海は万田の近くまであったそうです。次に見つかったのは、石で造ったオノヤヤジリ、それと縄で模様をつけた縄文土器という壺です。石器は狩りや木を切るのに使われ、土器は食べ物を蓄えたり煮たりするのに使われたそうです。昔の人もいろいろなものを食べていたんですね。

わたしが住んでいる土地の地名の由来
旭地区

●高根 (鍵川晴南)
高麗山の麓の高い場所(根)にあるところ(高麗山の根)という意味でつけられました

●纏 (関口刃)
松延・友牛・久松という三つの村が合併したときに、その三つの頭文字マトヒに纏という漢字を当てつけられました



縄文土器ってきれいな模様

昔の人の暮らしがわかる万田貝塚。そんな貴重なものを残してくれた何千年前の人たちに、本当に感謝です。